

平成14年度利用世帯に対するアンケートの結果の概要について

1 世帯構成

「70歳以上の女性単身世帯」が56.7%で最も高く、次いで、「世帯全員が70歳以上の世帯」が25.1%、「70歳以上の男性単身世帯」が7.5%となっている。

2 福祉除雪を知ったきっかけ

「広報さっぽろ」が33.5%で最も高く、次いで、「町内会の回覧板」が20.1%、「民生委員」が19.6%となっている。

3 申込の理由

「体力的に除雪できなくなったから」が78.5%、次いで、「配偶者の死亡のため」が12.8%である。

4 間口除雪の支障の有無

「支障はなかった」が75.1%となっており、「多少支障があった」「とても支障があった」は、あわせると20.1%である。

5 敷地内通路除雪幅の支障の有無

「支障はなかった」が68.4%となっており、「多少支障があった」「とても支障があった」は、あわせると24.6%である。

(参考) <平成13年度事業にかかるアンケートの結果>

「支障はなかった」が64.6%となっており、「多少支障があった」「とても支障があった」は、あわせると23.3%である。

6 除雪の終了時間

「8時まで」で55.3%が、「10時まで」で84.9%が終了している。

7 利用負担金額等

市民税非課税世帯(負担金額 5,000円)が62.0%、市民税課税世帯(10,000円)が31.0%、生活保護世帯(無料)が3.4%であったが、負担金額については「適当」「安い」をあわせると88.1%、「高い」は6.4%となっている。

なお、世帯数が最も多い市民税非課税世帯については、負担金額が「適当」「安い」は94.2%、「高い」は5.9%となっている。

世帯収入をみると、「100~200万円」が34.9%で最も高く、次いで、「200~300万円」で32.7%となっている。

(参考) <平成13年度事業にかかるアンケートの結果>

負担金額が「適当」「安い」は82.3%、「高い」は9.5%となっている。

なお、市民税非課税世帯については、負担金額が「適当」「安い」は88.3%、「高い」は6.1%となっている。

8 除雪の従事者

従事者は「近所の人なので安心できた」が35.8%、逆に、「近所の人なので気まずかった」は2.8%となっている。

なお、「近所の人かどうかわからなかった」が31.3%となっている。

9 声かけの感想

「声かけで安心できた」が29.1%、「声かけはしなくてもよい」は28.2%である。

10 利用の感想・次回の利用

「良かった」「まあまあ良かった」をあわせると91.6%、一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は5.9%となっている。

次回について、「利用する」が84.6%、「利用しない」は3.6%となっている。

(参考) <平成13年度事業にかかるアンケートの結果>

「良かった」「まあまあ良かった」は90.7%、一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は7.2%となっている。

11 意見等

- ・「良かった」「感謝している」「安心して過ごせた」
- ・「除雪時間を早くしてほしい」
- ・「間口にあわせて広めに対応してくれありがたかった」
- ・「範囲(間口・敷地内通路)を広げてほしい」
- ・「もっといいいにしてほしい」

平成 14 年度福祉除雪地域協力員アンケート結果概要

1 性別

「男性」は84.3%、「女性」は15.7%である。

2 年齢

「60歳代後半」が26.4%で最も高く、次いで、「70歳代前半」が20.5%、「60歳代前半」が19.0%となっている。

3 職業

「無職または家事専業」が51.4%で最も高く、次いで、「常勤の従事者」が14.2%、「自営業」が11.4%となっている。

4 協力の立場

「地域ボランティア(近隣に住む者のひとり)」が49.4%で最も高く、次いで、「町内会役員」が33.2%、「福祉のまち推進員・協力員」が9.7%となっている。

5 個人・グループの別, 人数

参加は「個人」が73.3%、「グループ」は20.2%である。

グループの人数は「2~3人」が35グループ(49.3%)で最も高く、次いで、「4~5人」が14グループ(19.7%)、「6~9人」が12グループ(16.9%)となっている。

6 担当世帯数

「1世帯」が73.0%で最も高く、次いで、「2世帯」が19.0%、「3~4世帯」が6.0%となっている。

7 福まちとの関わり

福祉のまち推進センターに「関わっている」が33.8%、「関わっていない」が61.6%となっている。

8 地域協力員を引き受けたきっかけ

「町内会役員からの声かけ」が58.2%で最も高く、次いで、「民生委員からの声かけ」が13.1%、「社会福祉協議会からの声かけ」が5.4%となっている。

9 地域協力員の開始年度

「平成13年度から」が37.5%、「平成14年度から」が34.4%、「平成12年度から」は22.4%となっている。

10 除雪の終了時間

「7時~8時」が36.4%で最も高く、「8時~9時」が24.4%、「7時まで」が18.8%となっている。

11 除雪の実施時間の感想

「ちょうどよい」が65.9%で最も高く、「遅すぎる」は2.6%、「早すぎる」は1.4%となっている。

12 間口の除雪幅の感想

「現行の幅でよい」は66.5%であり、「もう少し幅を広げてあげた方がよい」は21.3%となっている。

13 敷地内通路の除雪幅の感想

「現行の幅でよい」は53.4%であり、「もう少し幅を広げてあげた方がよい」は36.9%となっている。

(参考) <平成13年度事業にかかるアンケートの結果>

「現行の幅でよい」は51.6%であり、「もう少し幅を広げてあげた方がよい」は39.5%となっている。

14 敷地内通路の除雪幅の実態

除雪幅の実態は「1m以上」が48.9%、「90cm～1m」は32.4%、基準どおりの「80cm」は8.0%である。

15 対象世帯の範囲の感想

「適当である」は75.3%であり、一方、「もっと条件を緩和すべきである」は9.9%、「もっと条件を厳しくすべきである」は4.8%となっている。

16 除雪作業の感想

「少し大変である」は65.3%で最も高く、次いで、「楽である」は19.6%、「非常に大変である」は9.7%となっている。

17 担当世帯からの苦情の有無

「苦情はなかった」が93.5%、一方、「苦情があった」は2.3%となっている。

18 利用負担金の感想

「この程度の金額は当然である」が37.2%で最も高く、「わからない」が28.7%、「金銭がからむのはよくない」が11.1%、「もう少し安いほうがよい」が10.8%、「もう少し高くてもよい」が4.5%となっている。

19 報酬を受け取ることの感想

「必要である」が40.3%で最も高く、「わからない」が22.4%、「必要ない」が15.3%となっているが、そのほかに、個人的には報酬を受け取らないで、地区社会福祉協議会や福祉のまち推進センター等に寄付したと思われる方が11.4%いる。

20 報酬額の感想

「適当」が41.8%で最も高く、次いで、「わからない」が33.5%、「安い」が7.4%、「高い」が6.0%となっている。

21 協力の感想・次回の協力

「良かった」「まあまあ良かった」をあわせると91.5%、一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は6.8%となっている。

次回について、「協力する」は73.3%、「わからない」は21.9%、「協力しない」は3.4%となっている。

(参考) <平成13年度事業にかかるアンケートの結果>

「良かった」「まあまあ良かった」は90.8%、一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は4.0%となっている。

22 意見等

- ・「回数・時間など臨機応変に対応した」
- ・「利用世帯への説明（除雪は午前1回のみ）や調査を（子どもが本当にできないのか？）きちんとしてほしい」
- ・「地域の支え合いが深まり、絆が強まる事業であり、町内にとっても良い事業である」
- ・「町内会で協力員の確保が難しく、業者による実施や除雪機の保有等を検討してほしい」
- ・「大変喜んでいただき、参加して良かった」

平成 14 年度福祉除雪地域協力団体アンケート結果概要

1 地域協力団体を引き受けたきっかけ

「災害防止協力会から誘われて」が57.8%で最も高く、次いで、「札幌市」が18.8%、「社会福祉協議会」が15.6%となっている。

2 他のボランティア活動の有無、内容

「行っていた」が26団体で40.6%、「行っていなかった」は51.6%となっている。
ボランティア活動の内容としては、「清掃活動」が11団体、「災防協の奉仕活動」が6団体、「地域活動」「学校の清掃など」がそれぞれ5団体となっている。

3 担当世帯数

「6～10世帯」が39.0%で最も高く、次いで、「5世帯以下」が30.5%となっている。

4 協力開始年度

「平成13年度から」が60.9%、「平成14年度から」が21.9%、「平成12年度から」が17.2%となっている。

5 敷地内通路の除雪幅の実態

除雪幅の実態は「90cm～1m」が53.1%、「1m以上」は31.3%、基準どおりの「80cm」は10.9%である。

6 担当世帯からの苦情の有無、内容

「苦情はなかった」が59.4%、「苦情があった」が39.1%となっている。
苦情の内容としては、「早朝に除雪してほしい」「降雪があったら除雪してほしい」などである。

7 実施方法の感想・次回の協力

「今回の実施方法でよい」が69.8%、「改善すべきである」は22.2%となっている。
改善点としては「利用世帯への内容の説明を十分行ったうえで該当にしてほしい」などである。
次回については、「協力する」が87.3%、「わからない」は11.1%、「協力しない」は1.6%となっている。

8 意見等

- ・「利用世帯への説明不足が苦情につながる」
- ・「当日の 時までに積もった雪を 時までに除雪するということに、わかりやすく明記してほしい」
- ・「すでに除雪されている世帯があり、必要性に疑問を感じる」
- ・「PR不足である」